

授業科目名		対象学科・専攻	年次	期別
教育原論 Principles of Education		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員	担当形態
講義	2	必修	木村 一恵	単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教育に関する社会的、制度的、経営的事項

○コアカリキュラム：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

全体目標：教育の基本的概念は何か、また、教育の理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想において、それらがどのように現れてきたかについて学ぶとともに、これまでの教育及び学校の営みがどのように捉えられ、変遷してきたのかを理解する。

(1) 教育の基本的概念

一般目標：教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解する。

到達目標：1) 教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。

2) 子供・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。

(2) 教育に関する歴史

一般目標：教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解する。

到達目標：1) 家族と社会による教育の歴史を理解している。

2) 近代教育制度の成立と展開を理解している。

3) 現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。

(3) 教育に関する思想

一般目標：教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解している。

到達目標：1) 家庭や子供に関わる教育の思想を理解している。

2) 学校や学習に関わる教育の思想を理解している。

3) 代表的な教育家の思想を理解している。

【全体目標及び概要】

教育の基本的概念、理念にはどのようなものがあり、教育の歴史や思想においてそれらがどのようになされてきたかについて学ぶとともにこれまでの幼児教育がどのように社会の中で捉えられ、変遷してきたのかを理解する。幼児教育について基本的な制度、理念、歴史、思想について理解を深め、これからの乳幼児教育の課題を探り、積極的に取り組む必要性を学ぶ。

【一般目標及び到達目標】	目標対応
(1) 幼児教育の歴史に関する基礎的知識を身につけ、それらと多様な教育の内容、理念を過去から現代に至るまでの変遷を理解する。 1) 子ども、家族と幼児教育の歴史の変遷を理解している。	(1)-1)、2) (2)-1)
2) 近代教育制度の成立と2015年より改正施行された子ども・子育て支援新制度について説明できる。	(2)-2)
3) 現代社会における幼児教育のあり方を歴史的な視点から理解している。	(2)-3)
(2) 教育に関するさまざまな思想と実際の幼児教育とのかかわりを理解している。 1) 家庭や子どもに関する教育の思想を理解している。	(3)-1)
2) 幼児教育の内容にかかわるさまざまな理念、思想を説明できる。	(3)-2)
3) 日本、世界における代表的な教育家の教育理論を理解している。	(3)-3)

回数	教育原論 授業内容 【木村一恵】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応
1	「生きるということ 育つということ」と教育についての関連性について理解する。	(1) 3) (2) 1)	(2)-3) (3)-1)
2	現代の問題点といわれる「貧困」と教育の関係について理解を深める。	(1) 3)	(2)-3)
3	教育の目的について論議し、さまざまな考え方があることを学ぶ。	(1) 3) (2) 1)	(2)-3) (3)-1)
4	「子どもの権利条約」と現代の教育について理解する。	(2) 2)	(3)-2)
5	世界の教育の歴史、思想、教育理論について学ぶ。	(1) 1) (2) 2) 3)	(1)-1)、2) (2)-1) (3)-2)、3)
6	日本の幼児教育の歴史、思想、教育理論について学ぶ。	(1) 1) (2) 2) 3)	(1)-1)、2) (2)-1) (3)-2)、3)
7	教育基本法、学校教育法、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領について学ぶ。	(1) 2)	(2)-2)
8	子ども・子育て支援制度の概要について学ぶ中で子どもを取り巻く情勢の変遷について理解する。	(1) 1) 2)	(1)-1)、2) (2)-1)、2)
9	子ども・子育て支援制度の具体的内容について学ぶ。	(1) 2)	(2)-2)
10	子ども・子育て支援制度の内容を学ぶ中で、幼稚園教育だけではなく幼児教育には様々な形態のあることを理解する。	(1) 2) (2) 1)	(2)-2) (3)-1)
11	教育内容を考える上で教材研究の重要性を理解する。	(1) 3) (2) 2)	(2)-3) (3)-2)
12	教育内容を深めていくために教育計画、指導計画がいかに重要かを理解する。	(1) 3) (2) 2)	(2)-3) (3)-2)
13	教育・保育実践記録の意味と必要性について理解する。	(1) 3) (2) 2)	(2)-3) (3)-2)
14	幼稚園教育と家庭教育の連携の重要性について学ぶ。	(1) 1) (2) 2)	(1)-1)、2) (2)-1) (3)-2)
15	これからの幼児教育のあり方についてグループで協議する。	(1) 3) (2) 1)	(2)-3) (3)-1)
定期試験	実施する		
成績評価方法	定期試験（知識・理解力・思考力） 80% レポート（思考力・表現力・意欲） 20%		
テキストおよび参考文献	『教育原論』山口短期大学 保育福祉小六法 幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 文部科学省・内閣府・厚生労働省）、保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）		
メッセージなど	保育・教育を学ぶ入口。教育の歴史、思想が今日の教育のなかにどのように伝わっているのか。幼児教育に関する法律をもとに幼児教育のあり方をわかりやすく伝えていきます。		

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1) 子ども、家庭と幼児教育の歴史の変遷を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる	大きな間違いはなく、説明できる	最低限の説明はできる	説明できていない	定期試験 (知識・理解)	10%
(1)-2) 近代教育制度の成立と2015年より改正された子ども・子育て支援新制度について説明できる。	ほぼ完璧に説明できる	大きな間違いはなく、説明できる	最低限の説明はできる	説明できていない	定期試験 (知識・理解)	20%
(1)-3) 現代社会における幼児教育のあり方を歴史的な視点から説明できる。	ほぼ完璧に説明できる	大きな間違いはなく、説明できる	最低限の説明はできる	説明できていない	定期試験 (知識・理解)	15%
(2)-1) 家庭や子どもに関する教育の思想について説明できる。	ほぼ完璧に説明できる	大きな間違いはなく、説明できる	最低限の説明はできる	説明できていない	定期試験 (知識・理解)	10%
(2)-2) 幼児教育の内容にかかわるさまざまな理念、思想を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる	大きな間違いはなく、説明できる	最低限の説明はできる	説明できていない	定期試験 (知識・理解)	15%
(2)-3) 日本、世界における代表的な教育家の教育理論を具体的に説明できる。	ほぼ完璧に説明できる	大きな間違いはなく、説明できる	最低限の説明はできる	説明できていない	定期試験 (知識・理解) 課題レポート (思考力・判断力・表現力)	10% 20%